

氏名	竹 中 守
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	甲 第 9 1 号
学位授与の日付	昭和37年 3 月31日
学位授与の要件	医学研究科外科系皮膚科学泌尿器科学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	皮膚疾患における蛋白代謝の研究
論文審査委員	教授 大村 順 一 教授 谷 奥 喜 平 教授 砂 田 輝 武

学 位 論 文 内 容 要 旨

皮膚疾患の発生機転を物質代謝の面より究明するために、実験的家兎皮膚炎を対象として血清蛋白像の変動を追求した。その結果、クロトン油皮膚炎ならびに肝障害皮膚炎においては、局所病勢の進行にほぼ平行して蛋白質量、アルブミンの減少、 γ -グロブリンの増加を招き、それらの変動は病勢の軽快、治癒にややおくれで恢復することを知り、更にこれら家兎群にたいし、動的平衡における中枢規制の一つと考えられる副腎皮質ホルモンを投与し、該ホルモンが異常血清蛋白像を改善する方向に働くことを明らかにした。なおその際 β -グロブリンの著増が指摘され蛋白代謝への関与が糖質代謝、脂質代謝などとの関連において考えられねばならぬことを推測させた。

日本皮膚科学会雑誌 第72巻第12号掲載 昭和37年12月20日発行

論文審査の結果の要旨

竹中守提出の「皮膚疾患における蛋白代謝の研究」に関する学位論文につき審査した結果の要旨は次の通りである。

皮膚疾患の発生病機を物質代謝の面より究明するために、実験的家兎皮膚炎を対象として血清蛋白像の変動を追求した。

その結果、クロトン油皮膚炎ならびに肝障害皮膚炎においては、局所病勢の進行にほぼ平行して蛋白質量、アルブミンの減少、 α -グロブリンの増加を招き、それらの変動は病勢の軽快、治癒にややおくれて恢復することを知り、更にこれら家兎群にたいし、動的平衡における中枢規制の一つと考えられる副腎皮質ホルモンを投与し、該ホルモンが異常血清蛋白像を改善する方向に働くことを明らかにした。なおその際 β -グロブリンの著増が指摘され、蛋白代謝への関与が糖質代謝、脂質代謝などとの関連において考えられねばならぬことを推測させた。

以上の通り本論文は新しい知見に富み、学術上有益であり、著者は医学博士の学位を授与せられるべき学力を有すると認める。